

SHIN-KUKI DISASTER NEWS VOL.5

2021年度 院内防災訓練 について

12月となり今年も1か月となりました。1年が過ぎるのが早いですね。
皆さん、こんにちは。新久喜総合病院災害対策委員会の信太です。
第5弾災害対策ニュースは、2021年10月23日に行われた2021年度院内防災訓練についてです。

院内防災訓練とは年に1回以上、災害拠点病院で義務づけられている訓練ですが、一昨年までは義務的に行い、それほど大掛かりに行うことはない訓練でした。昨年からは、DMATチームが主に立案することになり、土曜日午前中を使って院内の皆さんがなるべく多く参加してもらい、実際の災害時に対応できるようになることを目的に計画を立てています。

昨年度の訓練では、被災時に病院での本部・救護活動の運用、指揮命令系統の基本について実際に本部を立てて行い、経験してもらいました。

今年度は、晴天の土曜日午前中、実際に職員のみなさんと人形等を使い30名の患者を災害時の様々な疾患を検査し院内での治療を想定した訓練を行いました。



病院の外から5分間隔で数人程度の患者さんが次々来院するところから開始し、実際の搬送をリハビリテーション科の方に主に動いていただき、



昨年同様トリアージエリアとして**緑**（軽傷）・**黄**（中程度）・**赤**（重症）エリアをそれぞれ置き、医師・看護師・事務の方がどのような動きになるか、記録と急変時の対応を実際経験してもらい、問題点をあげていくことができました。



今年度は昨年度よりさらに多くの職員の方、特に実際に現場で動いている職員の方々の参加、研修医や専修医の参加を多くいただき災害体験を共有できました。

今年度も昨年度同様、コロナ禍であったため出来るかどうか困難でしたが、開催することができほっとしています。2021年12月5日現在では新型コロナウイルス感染者は落ち着いています、来年はさらに落ち着いて、まだ参加していない多くの職員の方々と災害訓練をおこない災害体験の共有ができると良いなと思っています。

また、DMATチームの皆さん、毎週遅くまで立案計画、当日前日の準備・片付けまでお疲れさまでした。当院は2チーム編成可能なほどDMAT隊員を擁しています。災害医療に興味があるという方はいつでも声をかけてください。ぜひ一緒に災害医療支援チームとしてやっていきましょう！